

[農]学部1年女子の 合格体験記

自己紹介

私は農学部1年、宮城県出身です。浪人生でした。AOⅢ期入試で入学しました。

東北大を志望した時期とその理由

志望した時期：学部は高2の夏、大学は浪人を決めた春
理由：まずは学部から。私は生物が大好きで大学では生物を研究したいと思っていました。高1の夏は生物を研究できる学部を片端から見学して、高2の夏に自分がやりたい研究の方向性に最も合っている農学部に決めました。

東北大学に志望を固めたのは浪人を決めたときです。現実的な理由として、浪人したあげく一人暮らしまでするのは費用の面で申し訳ないと思ったのもありますが、子供の頃から馴染みのある大学で学ぶことに確かな魅力も感じていました。

受験期の勉強方法

模試などで間違った問題の間違い方をまとめたノートを作っていました。ただ間違った問題をまとめるのではなく、あの公式を忘れた、この知識が足りなかった、など根本的で本番前の見直しに使えるように書くのがポイントです。

また、二次型でもセンター型でもなぜこの方法で解くのか、どうしてこうなるのか、ということを考えながら解くようにしていました。理由を理解していると類題も同じように解けるようになるのでおすすめです。

私はAO入試Ⅲ期を受験したため、勉強と平行して生物や農学に関する興味や知識を蓄えるようにしていました。興味の深め方は本を読むことだけではないと思います。自分に合った方法を見つけましょう。

モチベーションの保ち方

研究室についてよく調べていました。農学部は2年生になるときにコースが分かれるのでどのコースに行きたいか、研究室はどこがいいか、面接でどの研究について話そうか、などなど研究室のホームページを眺めて考えていました。部活やサークルについて想像を膨らませるのも効果的でした。

受験直前～当日

面接の前日は特に何もしていませんでした。言い換えれば、いつも通り過ごしました。地元なので前乗りの必要もなく、会場への行き方も不安なところはなかったので本当にいつも通り、リラックスしていました。面接に自信があったのも、いつも通り過ごせた理由かもしれません。

当日も平常心でした。農学部では面接の資料として小作文が課されるので、今までこなした過去問を思い出したり、面接の想定問答を頭の中でやってみたりして待ち時間を過ごしました。周りはみんな自分よりセンターとれているんだろうなとも思っていました。



大学に入学して…

〔バイト〕

私の通っていた高校はバイト禁止だったので、大学生になって初めてバイトを経験しました。東北大生がやっているバイトは塾関係が多いと思います。かくいう私も塾で個別指導をしています。塾講師は時給が高いので週一で教えているだけでも結構収入があります。

私は実家生で仕送りがなく、サークルなどでかかるお金は自分で捻出する方針なので、バイトを掛け持ちしています。もう一つは実家の近くの飲食店です。家から近くて通いやすいので、大学がない日もシフトを入れるのが面倒ではないのがいいところです。

〔部活、サークル〕

私はおおわんと学友会アーチェリー部とブルーグラス同好会に所属しています。入りすぎだと自分でも思っています。部活、サークルに入ると他学部の友達がたくさんできます。いろいろな団体に所属すると、それだけ多くのつながりができることになります。アーチェリーもブルーグラスも大学に入ってから始めましたが、どちらもとっても楽しいです！大学入学は新しいことを始める絶好の機会だと思います。

受験生へのメッセージ

今までやってきたことを信じて！大丈夫！できる！

